

## 令和8年春号



朝の坐禅とお勤めに参加できるお寺 曹洞宗十勝山永祥寺

## 永祥寺だより

## 令和8年度 年会費について

平素より寺門護持にご協力をたまわり心からお礼申し上げます。今年も年会費の納入をお願いします。振込用紙は封筒の内側にはりついていることがあるのでご確認ください。

## 納入のしかたは3通り

- 1, 郵便局から振込用紙で納入
- 2, 寺務所で納入 振込用紙が必要 寺務所は急用で不在になることがあります
- 3, お月参りや祥月命日参りのときに僧侶に手渡し

領収書は少なくとも次の振り込み用紙が届くまでは保存しておくようお願いします。

## 多くいただくお問い合わせ内容

- 1、年会費は納骨堂の管理料や維持費ではなく、全てのお檀家様にお納めいただくものです
- 2、振り込み用紙が入っていない場合は封筒の中をご確認ください**
- 3、お振込の期日はありませんが、できればお早めに

## 戒名の恩金規定を変更しました

いわゆる戒名料について、長らく金額をすえおいてきましたがいよいよ上げなければならぬ状況になりました。具体的な金額につきましては寺務所もしくは僧侶にお問い合わせください。どうかご了承をおねがい申し上げます。

## ご相談 戒名とお葬式の領収書発行をしても良いでしょうか

## 1、発行のしかた

戒名に対するお布施と枕経、お通夜、お葬式、忌中引きの4回のお布施の金額を合わせて1枚の領収書で発行したいと考えています。

## 2、始める時期

お檀家様の賛同が得られたと判断できたら始めます。

お葬式の導師がお布施の袋を開封してご遺族の目の前で金額を数えるのは品がないとお感じる方が多数派であると思いますが、大きな金額の受け渡しになるのでその場で領収書を発行させていただけたら助かります。反対のかたが多いようであれば取り上げます。

## 令和8年春号

## 青松殿で初めての法要 落慶法要

ひきつづき春彼岸の中日法要もおこないます



法要の名前	落慶法要（らっけいほうよう） つづいて彼岸法要
趣旨	大心堂のお地蔵さまを青松殿の「地蔵尊の間」に安置し、建物の完成をお祝いします 彼岸法要では先祖代々のご供養をいたします
日時	3月 20 日 (金) 午後 1 時 00 分から 1 時 30 分ごろまで
場所	青松殿一階 地蔵尊の間
予約	不要
お布施	12 時 30 分ごろから 1 時までのあいだ青松殿に受付を設置します ご祝儀として別に金額をご用意してくださる方は別の袋を用意せずに、お布施の袋の中にまとめてお入れください
参列方法	1 階通路や 2 階ホールで起立しての参列となります 読経中に地蔵尊の前でご焼香していただきます
返礼品	数量に限りがございます 足りなくなつた場合はご容赦ください
持ち物	スリッパ（黒い靴底のシューズは不可）
その他	場所の都合上、法話と茶話会は中止になります

## ご詠歌をしてみませんか？

お釈迦さまの教えを歌に込めたものがご詠歌です。法要に際してご詠歌をお唱えする会を梅花講といいます。梅花講の講員になってくださるかたを募集しています。お檀家でなくてもご加入できます。ご加入の条件：同居のご家族に同意をいただくようにおねがいします

開催日：月 2 回 不定期 午後 1 時から 2 ~ 3 時間 参加費は無料です

お問い合わせと申し込み：寺務所へ

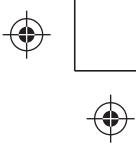
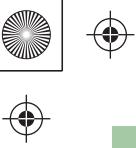
持ち物：特になし 法具はとりあえず必要ありません 本格的に始める時にご購入ください

15,000 円です 担当：藤原和宏監寺（ふじわらわこう かんす）



## 無断で納骨堂に納骨するのは違法

施設管理者（お寺の納骨堂なら住職）に無断で納骨堂に納骨することは違法です。発覚した際は遺骨の収去を求めることがあります。また大変心苦しいのですがその後の付き合いが難しくなるためお檀家をおやめいただくことになってしまいます。そのような対応をせずにすむように、法令にのつとつたお遺骨の取り扱いをお願いします。



## 返済支援のご寄付について

このたび1億円の借入をしました。返済のための第2弾の寄付の予定を聞かれることがあります  
未定です。ご意見ありましたら直接、またはLINEでお聞かせください。

## 加藤師 退職のおしらせ

このたび3月末日をもって永祥寺を退職いたします。在職中は、ひとかたならぬご厚情を賜り誠にありがとうございました。  
十勝での9年間はあつという間でしたが、お檀家の皆様からの温かい  
お言葉やお心遣いがいつも励みとなり、より一層精進すべく充実した  
日々を送ることができました。今後は宮城県石巻市にある実家の寺にて、  
跡を継ぐための準備に入ります。

末筆ながら、皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

加藤道賢 合掌



## LINE

を登録すると毎月  
住職から動画が届きます



スマホのカメラで  
右の緑色の四角を  
読みとるだけ



## LINEを使ってほしい理由

お月参りの休みなどの簡単なご連絡はLINEでしていただけ  
るとお寺の電話を使う時間を減らせます。そうすると他のお檀  
家様が葬儀の相談をしたいのにお寺の電話がずっと話し中でつ  
ながらないという状況を少なくできます。

## 納骨壇のかぎをなくした場合

1段の大型納骨壇には扉にかぎが付いているタイプのものがあります。かぎをなくしたら注文で  
きますが、祥雲閣の納骨壇は5,000円 白山堂と青松殿は1,100円がかかります。



4月7日(火) 花まつりと大般若  
お祈りさまのご生誕のお祝い  
健康祈願 学力向上のお祈り  
午後1時から2時半ごろまで

令和八年のご法事  
にあたります

令和七年に亡くなられた方は一周忌  
令和六年は三回忌  
令和五年は七回忌  
令和四年は三十三回忌  
令和三年は二十三回忌  
令和二年は十七回忌  
令和一年は十回忌  
平成二十二年は二十七回忌  
平成十六年は二十三回忌  
平成五年は三十三回忌  
昭和五十二年は五十回忌

ご法事は土日に集中します  
平日でも可能な方は平日でのご法事をご検討いただけ  
たら助かります

## 青松殿（せいしょうでん）が完成しました



## かさねてお願いします

ろうそくは火災の原因になるので持ち込まない  
でください。お内仏のろうそく台も危ない場面が  
たびたびあったため撤去しています。この新築を  
機に持ち込み禁止とさせていただきます。



白山堂（はくさんどう）と祥雲閣もです

事故もなく完成を迎えました。浄財のご寄進、木材の提供、伐採への参加、粘土砕き、レンガの成形、  
土壁塗り、人との縁を繋いでくださった方、全ての皆様に感謝申し上げます。

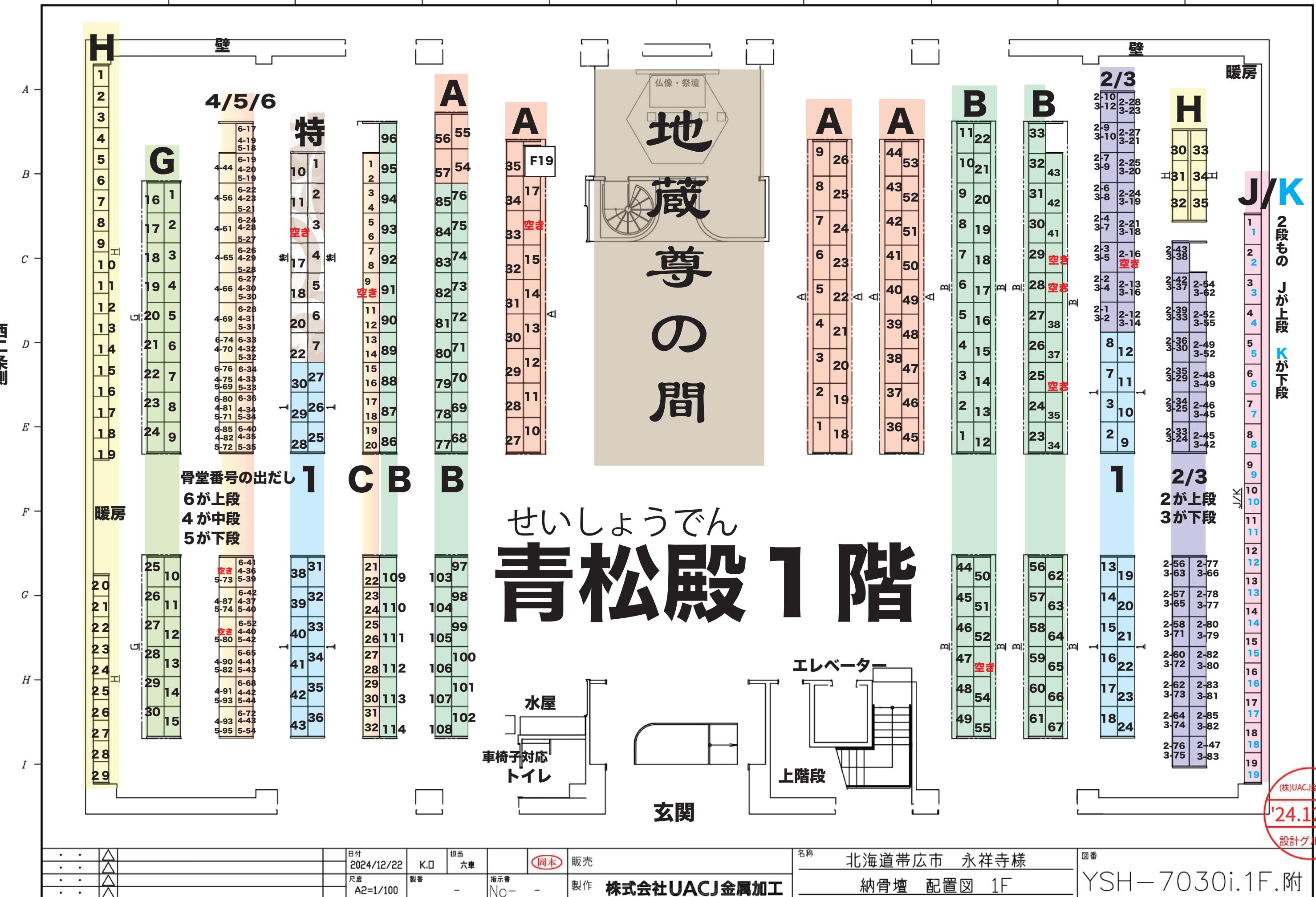
青松殿の内装には六道、成仏、十方という仏教思想を反映しており、いのちの行き先を示唆する唯一  
無二の建築となりました。また、皆様が提供された木材が活用されているところも青松殿の大きな特徴  
です。どのように使われているかぜひご覧にお越しください。

お檀家様の手がたくさん加わりいのちが吹き込まれた青松殿がご家族の思い出の一つとして末長く大  
切にされることを願います。

## 寄付の芳名版 完成はしばらくお待ちください

完成しだいLINEとおたよりでお知らせします。掲示する場所は青松殿2階の予定です。

# 南側 蒔広川の樹木とお寺の庭に面する側



北偏

